



株式会社ビューティガレージ

2019年度（2020年4月期）第2四半期

決算補足説明資料

# 会社概要



会社名	株式会社ビューティガレージ (BEAUTY GARAGE Inc.)
本社	東京都世田谷区桜新町一丁目34番25号
設立	2003年4月24日
資本金	768,385,250円
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード : 3180)
代表取締役CEO	野村 秀輝 (ノムラ ヒデキ)
従業員数	330名 (連結2019年10月末)
拠点	<営業拠点> 札幌/仙台/金沢/東京/名古屋/大阪/広島/福岡 <その他拠点> 千葉物流センター/中国広州/シンガポール/マレーシア/台湾
グループ会社	株式会社タフデザインプロダクト (店舗設計・施工事業) 株式会社アイラッシュガレージ (アイラッシュ商材の卸販売/開業・経営支援事業) 株式会社BGパートナーズ (美容サロンの店舗リース・転貸・設備リース事業) 株式会社足立製作所 (金属製器具・用品の製造販売事業) 株式会社BGベンチャーズ (投資業) BEAUTY GARAGE SINGAPORE PTE.LTD. (シンガポール) BEAUTY GARAGE MALAYSIA SDN.BHD. (マレーシア) BEAUTY GARAGE TAIWAN Inc. (台湾)

# 事業概要図

## 事業内容

プロ向け美容商材の  
物販事業

店舗設計  
デザイン事業

ソリューション  
事業

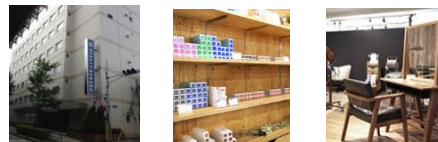
資金調達、リース、物件紹介、  
集客支援、POS、保険、等

## 販売経路

ECサイト



ショールーム



カタログ4種



法人営業



## 主な顧客

理容室  
美容室

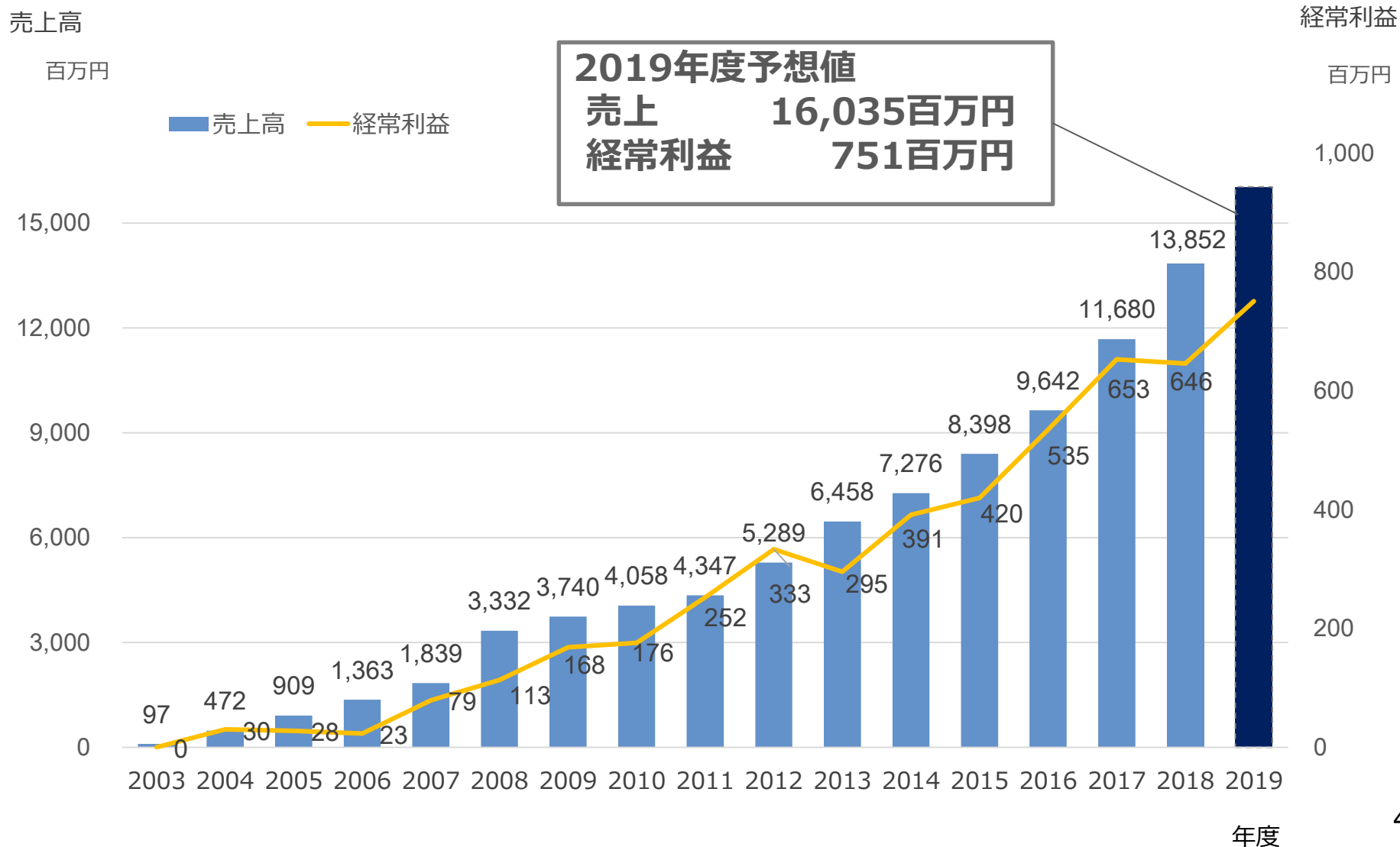
エステサロン

マッサージ  
リラクゼーション

ネイルサロン

まつ毛サロン

# これまでの業績推移



# 2019年度第2四半期 業績ハイライト (連結・累計)



■ 売上高

7,711百万円

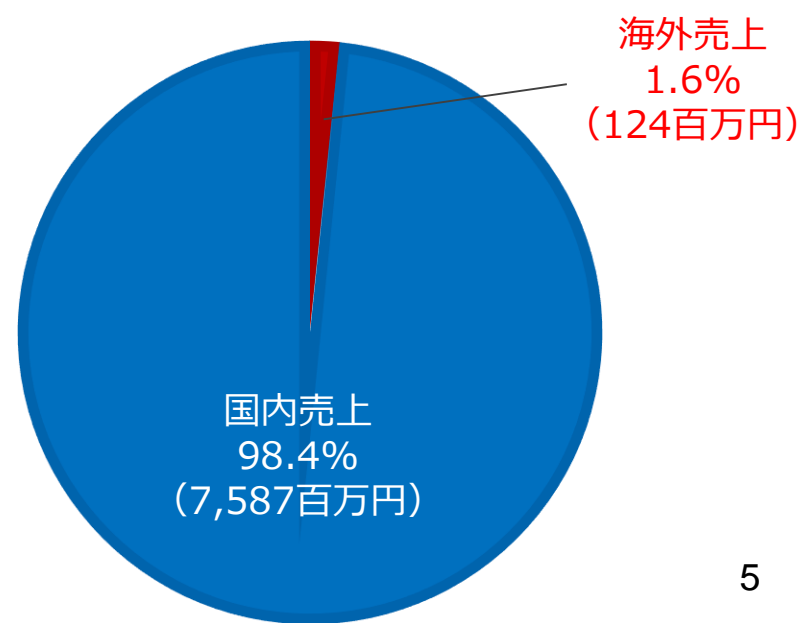
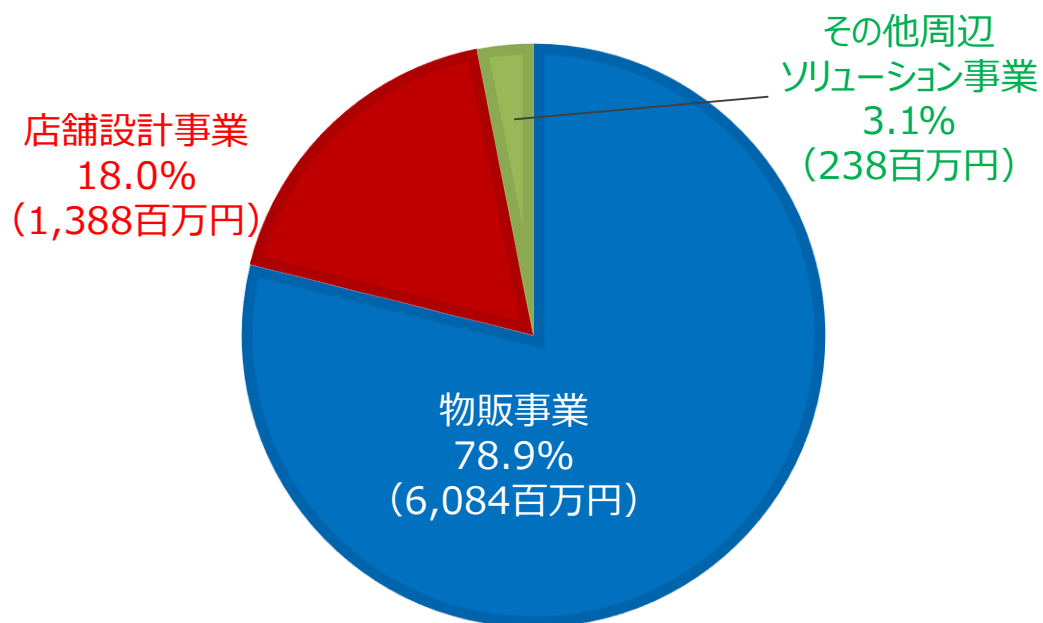
前年同期比 119.1%

■ 経常利益

316百万円

前年同期比 147.6%

(経常利益率4.1%)



## 2019年度第2四半期 主なトピックス

---

- 2019年5月 千葉物流センター内にオートメーション機器導入  
BEAUTY GARAGE TAIWAN  
台北に約400m<sup>2</sup>のショールームを開設
- 2019年6月 初のサロン向け海外進出支援セミナーを開催（約160名参加）
- 2019年7月 BEAUTY GARAGE SINGAPORE  
シンガポールに約320m<sup>2</sup>のショールーム開設  
CVCファンドによる投資第一号案件実行
- 2019年9月 大広製作所と販売代理店契約締結～大広製品取り扱い開始  
累計登録会員数が40万会員を突破
- 2019年10月 新通販カタログ「BG STYLE」3種発刊

## 2019年度第2四半期 決算概要 (連結・累計)

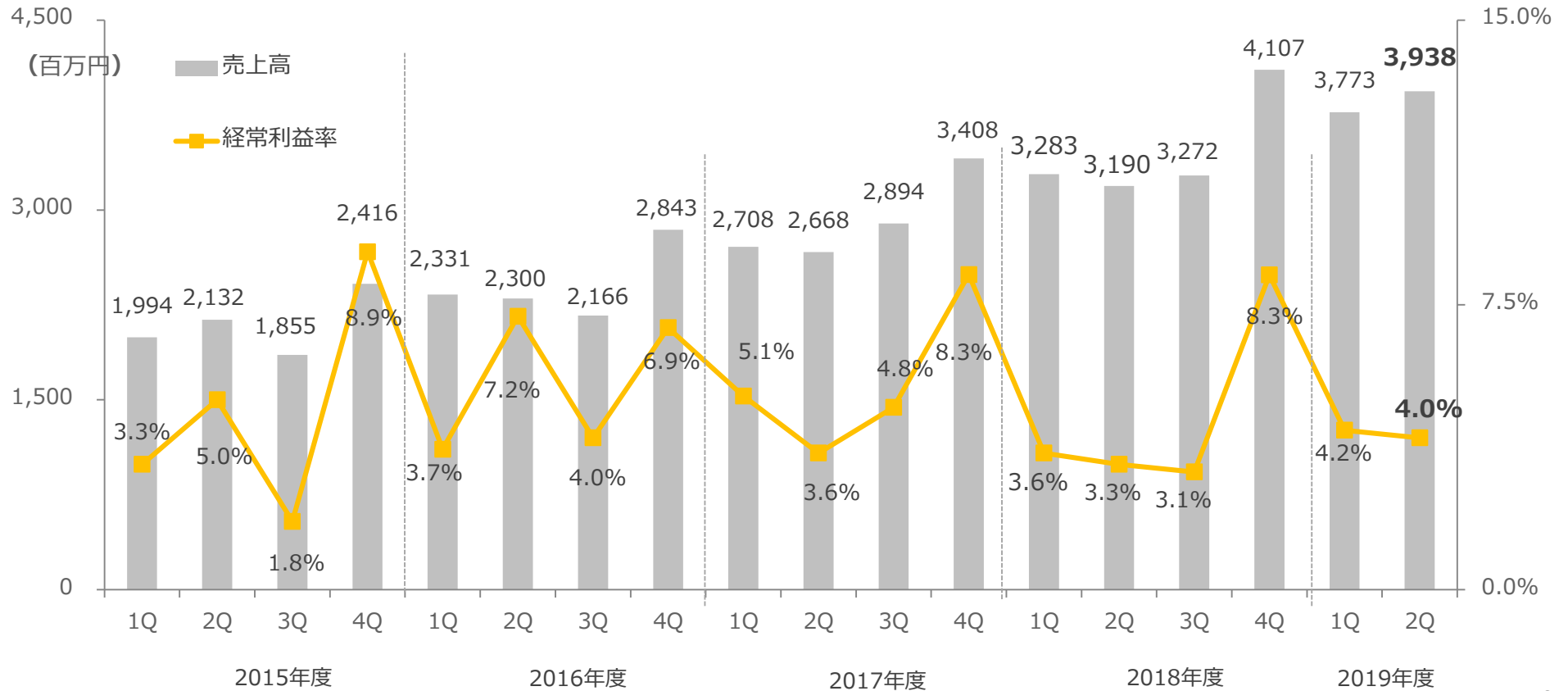
期初からのマーケティング施策が奏功したことと、一部消費増税の駆け込み需要が見られたことから化粧品・材料カテゴリーを中心とした物販事業及び店舗設計事業が好調だったことにより売上、利益ともに伸長

連結	2018年度第2四半期		2019年度第2四半期		前年同期比 (%)	予算比 (%) ※
	実績値 (百万円)	売上比 (%)	実績値 (百万円)	売上比 (%)		
売上高	6,473	100.0	<b>7,711</b>	<b>100.0</b>	119.1	103.5
売上総利益	1,994	30.8	<b>2,427</b>	<b>31.5</b>	121.7	-
販売費及び一般管理費	1,778	27.5	<b>2,112</b>	<b>27.4</b>	118.8	-
営業利益	215	3.3	<b>314</b>	<b>4.1</b>	145.8	135.5
経常利益	214	3.3	<b>316</b>	<b>4.1</b>	147.6	132.2
親会社株主に帰属する当期純利益	125	1.9	<b>163</b>	<b>2.1</b>	130.1	124.2

※予算比は期初発表の予算との比較を記載しております

# 売上高・経常利益率の推移 (連結)

利益率も前年同期比では改善して推移



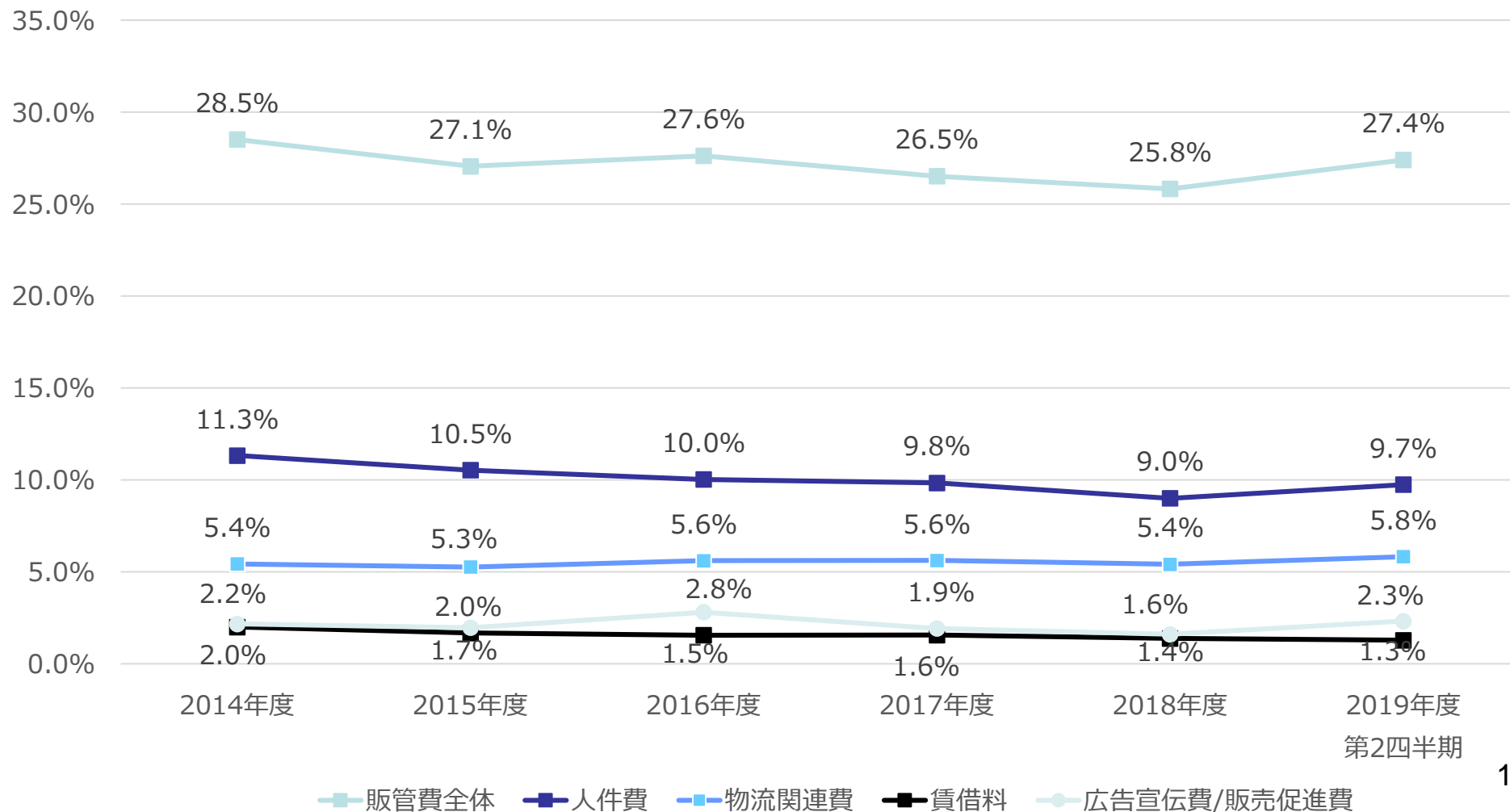


# 販売費および一般管理費について（連結・累計）

	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期		主な要因
	実績値 (百万円)	実績値 (百万円)	前年同期比 (%)	
<b>人件費</b> (役員報酬/給料手当/法定福利費/通勤費/ 人材派遣料等)	652	<b>751</b>	115.2%	✓ 人材強化に伴う給料手当増加
<b>物流関連費</b> (荷造運賃/倉庫保管料/物流賃借料)	364	<b>448</b>	123.2%	✓ 受注増に伴う出荷量の増大 ✓ 送料の値上げの影響
<b>賃借料</b> (オフィス・ショールーム)	95	<b>98</b>	102.5%	
<b>広告宣伝費/販売促進費</b>	138	<b>178</b>	129.0%	✓ WEBマーケティングに注力
<b>IT設備費/ソフトウェア償却費</b>	82	<b>105</b>	128.0%	✓ 新システム導入による増加
<b>支払手数料</b>	120	<b>148</b>	123.6%	✓ カード決済、代引き決済の増加
<b>その他</b>	324	<b>380</b>	117.3%	✓ のれん償却費 ✓ 業務委託費
<b>販管費合計</b>	<b>1,778</b>	<b>2,112</b>	118.8%	

# 販売費及び一般管理費の売上比率推移 (連結)

販管費の売上構成比は、物流関連費比率、広告宣伝費／販売促進費比率が上昇した結果、全体を僅かながら押し上げる結果で推移



# 貸借対照表サマリー (連結)

	2018年度末		2019年度第2四半期末			主な増減要因	
	実績値 (百万円)	構成比 (%)	実績値 (百万円)	構成比 (%)	前年度 末比 (%)		(百万円)
資産	6,827	100.0	<b>7,245</b>	100.0	106.1		
流動資産	5,424	79.4	<b>5,837</b>	80.6	107.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 棚卸資産の増加</li> <li>✓ 現預金残高の増加</li> </ul>	+269 +234
固定資産	1,402	20.5	<b>1,408</b>	19.4	100.4		
負債	3,017	44.2	<b>3,369</b>	46.5	111.7		
流動負債	2,678	39.2	<b>2,933</b>	40.5	109.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 引当金の増加</li> <li>✓ 前受金の増加</li> </ul>	+110 +202
固定負債	338	5.0	<b>435</b>	6.0	128.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 長期借入金の増加</li> </ul>	+65
純資産	3,810	55.8	<b>3,876</b>	53.5	101.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 自己株式の増加</li> <li>✓ 当期純利益</li> </ul>	▲87 +163
自己資本比率	54.9%		51.9%				
流動比率	202.5%		199.0%				

# 2019年度第2四半期 物販事業 KPIハイライト



■ EC売上構成比率	74.3%	前年同期	72.6%
■ PB売上構成比率	50.6%	前年同期	55.3%
■ 化粧品・材料売上構成比率	48.0%	前年同期	45.2%
■ 累計登録会員口座数	407,831口座	前年同期比 (前年同期	111.9% 364,464 口座)
■ アクティブユーザー数 過去1年間に1回以上購入履歴のあるユーザー	104,447口座	前年同期比 (前年同期	101.9% 102,523 口座)
■ ロイヤルユーザー数 過去1年間に6回以上購入履歴のあるユーザー	31,834口座	前年同期比 (前年同期	120.3% 26,462 口座)

# 2019年度第2四半期 物販事業①

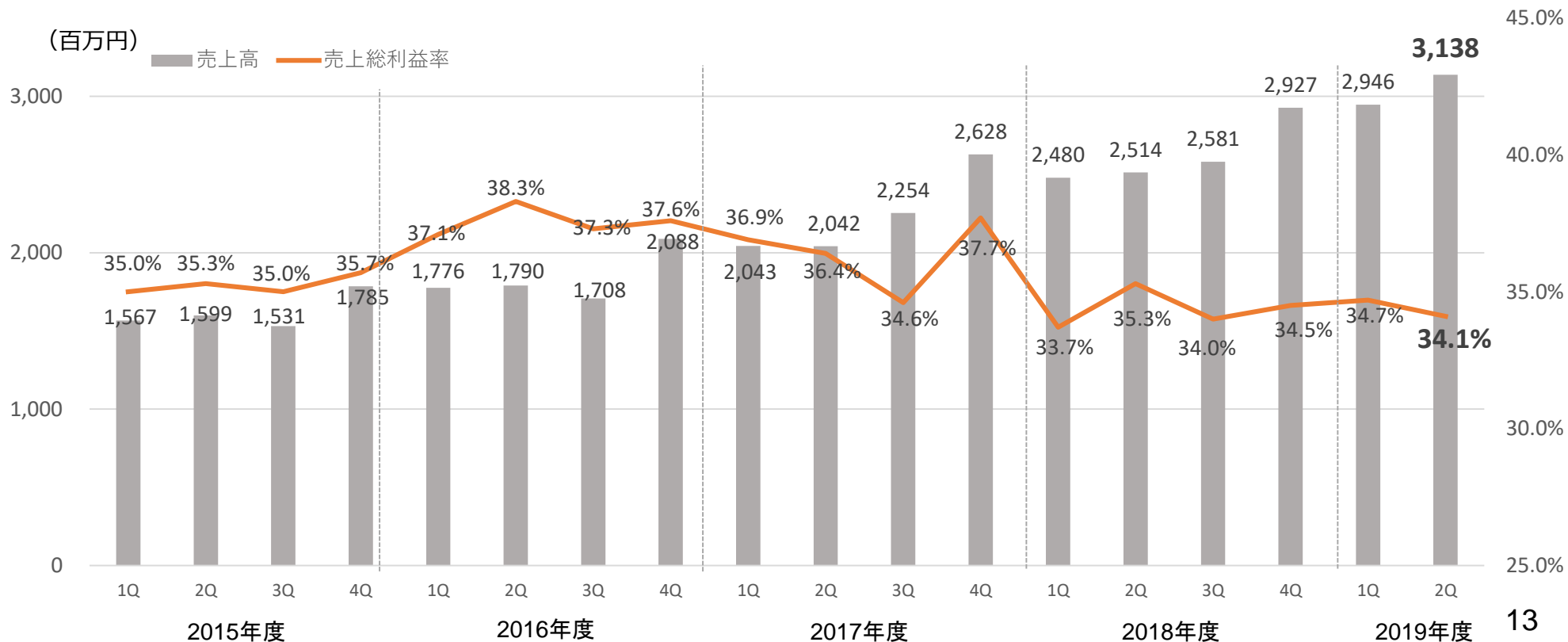


(売上高・利益率の推移)

売上高 **6,084百万円** (前年同期比 121.8%)

セグメント利益 **287百万円** (前年同期比 146.0%)

売上高は大幅に伸長するも、増税前セール等もあり粗利率は若干の低下がみられた



# 2019年度第2四半期 物販事業②

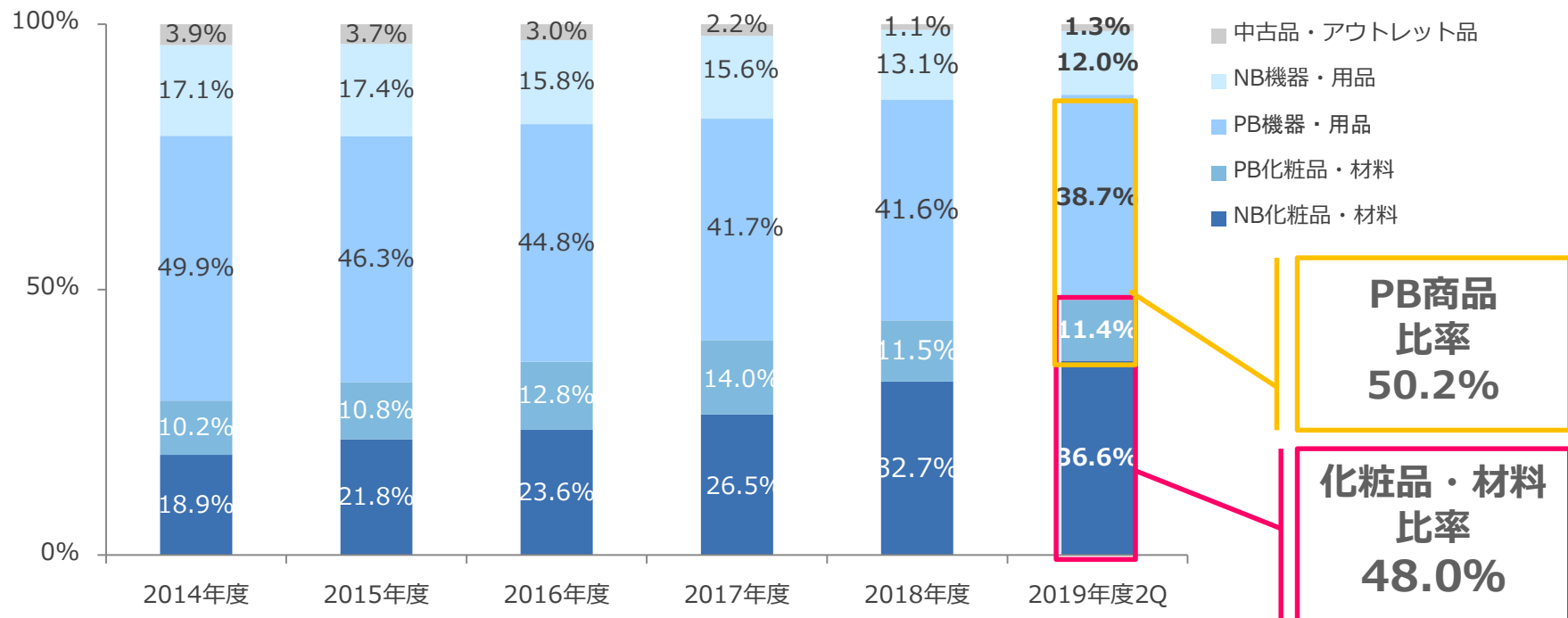


## (商品タイプ別)

機器・用品売上高	<b>3,163百万円</b>	(前年同期比 114.1%)
化粧品・材料売上高	<b>2,921百万円</b>	(前年同期比 131.4%)
うちPB商品売上高	<b>3,052百万円</b>	(前年同期比 113.7%)

NB化粧品売上の増大に伴って、化粧品・材料比率が50%を覗う水準まで拡大

商品タイプ別売上構成比推移 (2017年度下半期より足立製作所分はPB機器・用品を含む)

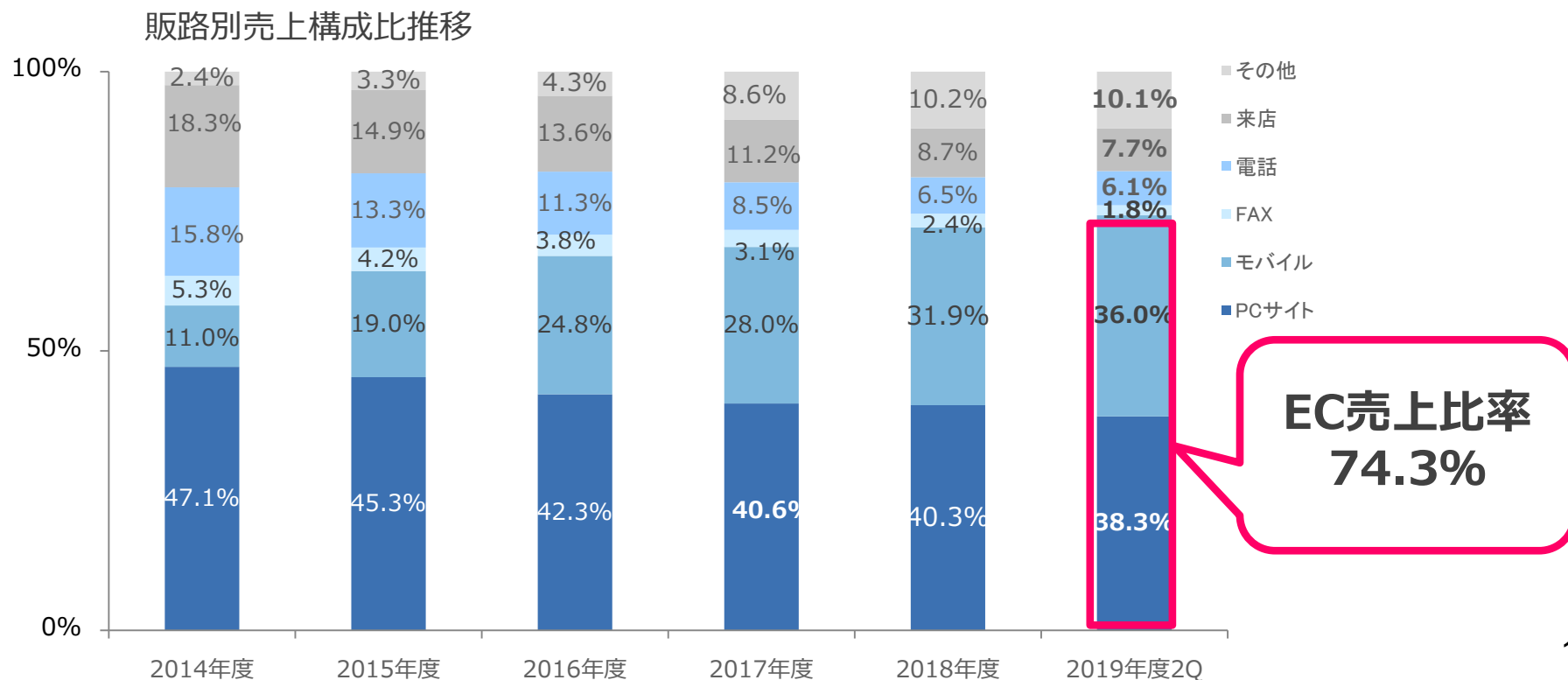


# 2019年度第2四半期 物販事業③

(販路別)

EC売上高 **4,520百万円** (前年同期比 126.1%)

EC売上比率は順調に伸長し、特にモバイルサイト経由での売上伸長が顕著



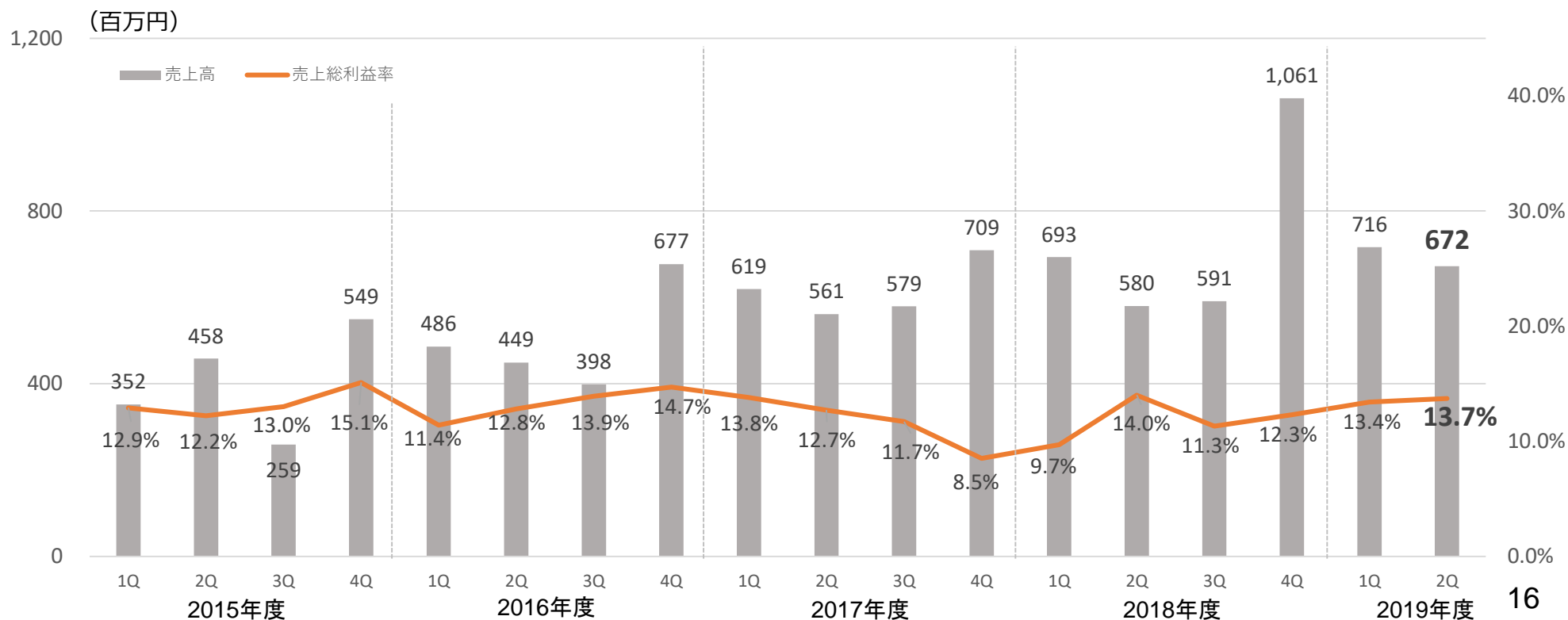
# 2019年度第2四半期 店舗設計事業

(売上・利益率の推移)



売上高 **1,388百万円** (前年同期比 108.9%)  
セグメント利益 **79百万円** (前年同期比 130.4%)

従来2Qの伸び悩みがみられる傾向にあるものの、今四半期においては案件の順調獲得により、前期比伸長した売上を確保したことに加え、粗利率も高い水準を確保して推移





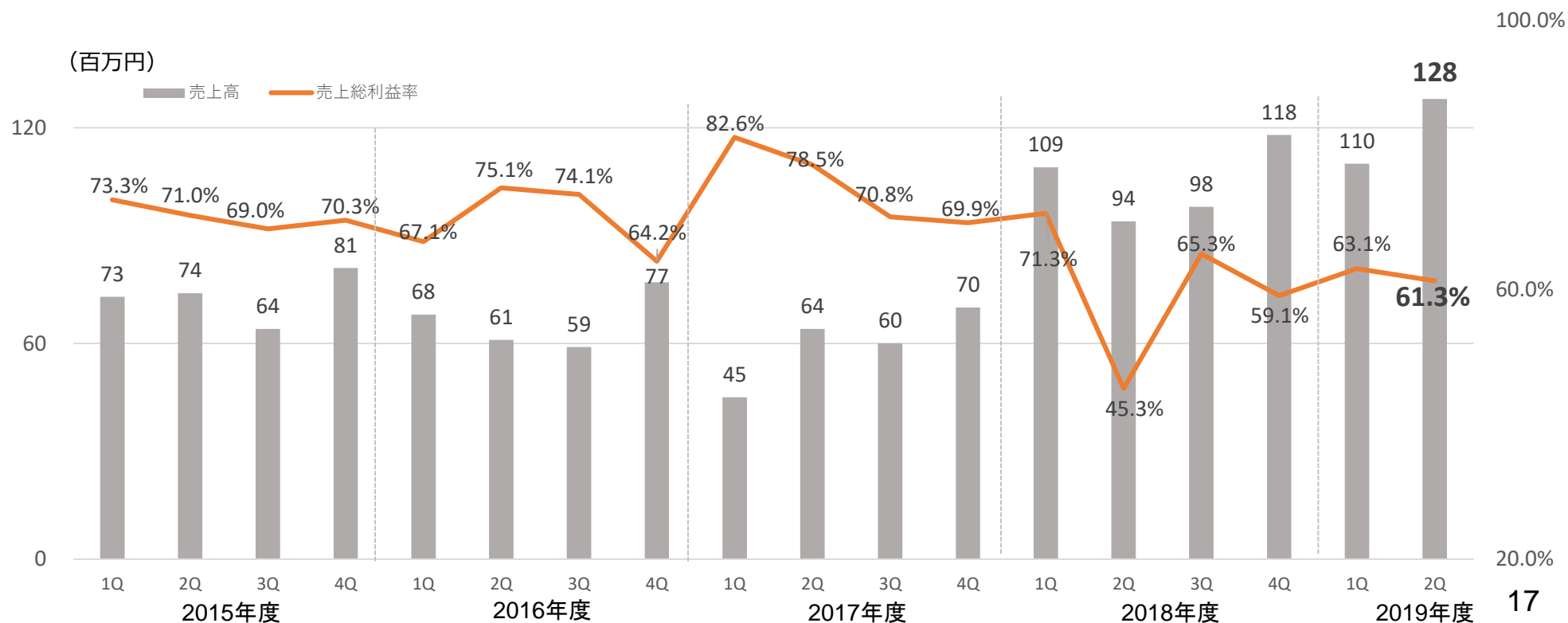
# 2019年度第2四半期 その他周辺ソリューション事業



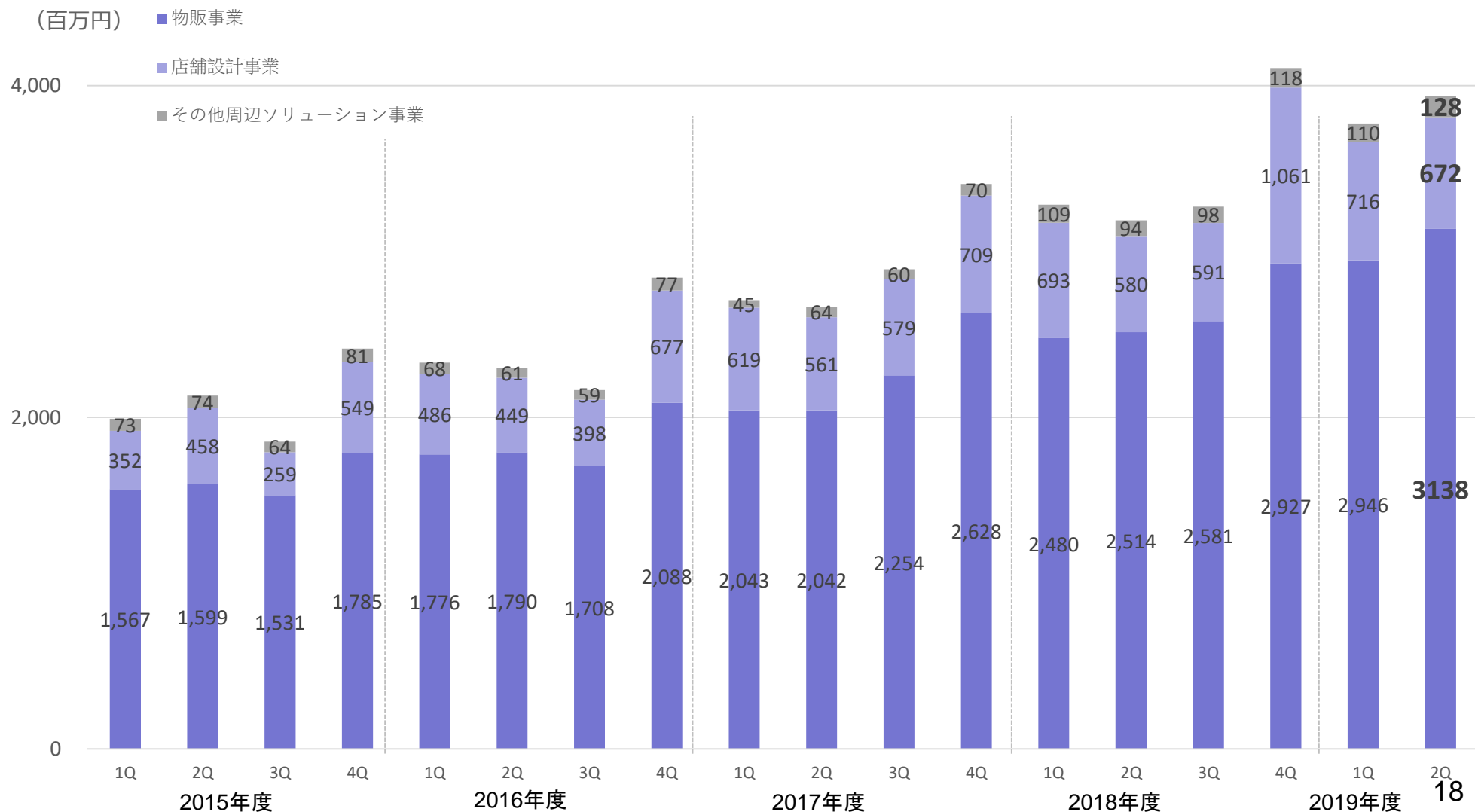
(売上・利益率の推移)

売上高 **238百万円** (前年同期比 117.1%)  
 セグメント利益 **20百万円** (前年同期比 100.3%)

店舗リース事業、講習・アカデミーサービス事業は堅調に推移したため、過去最高の売上を計上



# 【参考】セグメント別売上高の推移



美容サロン向けBtoB流通の圧倒的No.1  
プラットフォームの地位確立を目指してまいります



国内およびアジアNo.1の I T 美容商社へ